弁護士によるいじめ防止のための動画教材を活用した授業（指導案）

授業者用

１．目標

〇弁護士が人権を守る仕事であることや、いじめが人権を侵害する行為であることについて知る。

２．展開

〇日常的な事例に基づいた話し合いを通じて、いじめに向かわない態度や能力を身につける。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 動画 | 学習活動 | 留意点 | 開始からの  目安時間 |
| ＜チャプター１（３分）＞  弁護士と人権  　・弁護士の仕事  　・いじめと人権 | ＜導入（３～４分）＞  〇本時のめあてを確認する。  （本時のめあて）  　　いじめをなくすために自分たちにできることを考える。  〇弁護士の話を聞く。 | 〇いじめのない安心な学級をつくりたいという担任の思いを伝える。  （動画を再生する。） | ４分  ７分 |
| ＜チャプター２（５分）＞  ある日の出来事  ＜チャプター３（４分）＞  相手の気持ち（解説）  ＜チャプター４（５分）＞  自分の気持ち（問題提起）  ＜チャプター５（３分）＞  自分の気持ち（解説）  ＜チャプター６（３分）＞  いじめがダメな理由  ＜チャプター７（７分）＞  いじめをなくす方法  ＜チャプター８（４分）＞  いじめをなくす方法（解説）  最後に | Q１　同じチームになりたくないと言われたBさんの気持ちを考えてみよう。  Q２　逃げてばっかりでおもしろくないと言われたCさんの気持ちを考えてみよう。  〇ドッジボールの場面でのＡ、Ｂ、Ｃ、Ｄの会話を聞き、ＢとＣの気持ちを考える。  〇自分の考えを発表する。  ＜想定される意見＞  　・ムカつく（腹が立つ）  　・悲しい（ショック）  　・何も思わない  　・自信がなくなる  〇解説を聴く。  Q　Dさんの立場になって、あなたならどうするか考えてみよう。  〇ＡとＤの会話を聴き、自分がＤさんの立場ならどうするかを考える。  ＜想定される意見＞  　・Ａに注意する  　・何も言わない  　・後でＢ，Ｃを慰める  〇解説を聴く。  〇説明（エピソード）を聴く。  Q　Ａさんへのいじめを見ていたクラスのみんなの立場で、いじめをなくすために何ができるかを考えてみよう。  〇クラスメイト（傍観者）の立場で、いじめをなくすために何ができるかを考える。  ＜想定される意見＞  　・悩んでいる友達に声をかける  　・先生や家族に相談する  　・いじめを一緒に楽しまない  〇解説を聴く。  〇弁護士の話を聞く。 | （動画を一旦停止する。）  〇ワークシートに、個人の考えを書くよう指示する（２分）。  〇自分の気持ちではなくＢとⅭの気持ちを考えるよう、声かけをする。  〇何名か発表させて、人それぞれ感じ方が違うということに気づかせる。  〇発表した児童の意見に対して、教師の考えは述べず、発表した児童の勇気を認める声かけをする。  （動画を再生する。）  （動画を一旦停止する。）  〇ワークシートに、個人の考えを書くよう指示する（２分）。  〇何名か発表させる。その際、「同じ考えの人はいる？」等の声かけをし、それぞれの考えを共感的に受けとめる雰囲気を作る。  〇発表した児童の意見に対して、教師の考えは述べず、発表した児童の勇気を認める声かけをする。  （動画を再生する。）  （動画を一旦停止する。）  〇グループで考える時間を保障する（４分）。  〇何グループか発表させて、いじめをなくすための行動は一つではないことに気づかせる。  （動画を再生する。）  〇担任の思いを語る。  〇いじめは、いじめられた人の権利を奪ってしまうということを再度確認する。 | １２分  １６分  ２１分  ２４分  ２９分  ３６分  ４0分 |

３．その他

　・ワークシートは授業前に配布しておくとよい。

　・授業後は、振り返り（感想）を書かせる時間を確保し、それらを学級で共有するなどして、いじめのない学級づくりにつなげたい。